

指定管理施設の管理運営評価表（評価対象年度：令和6年度）

担当部署名	産業文化部商工政策課
評価対象期間	令和 6年 4月 1日 ~ 令和 7年 3月 31日
評価対象年度指定管理料	27,600,000 円

1. 施設の概要等

施設の概要	名 称	ワークセンター松阪
	所 在 地	松阪市上川町212番地 1
	設置目的	雇用の促進と勤労者その他市民の健康・福祉の増進及び文化教養の向上を図る
	設備の概要	本館（1208.28㎡）：【1階】多目的ホール 452.60㎡【2階】視聴覚室 90.40㎡、研修室 79.38㎡、会議室 52.56㎡ 第一別館（336.24㎡）：【1階】第1会議室 44.85㎡ 【2階】第2会議室 90.40㎡ 第二別館（697.85㎡）：【1階】多目的ホール 120.90㎡、料理講習室 91.00㎡【2階】第一講習室 52.00㎡、第二講習室 52.00㎡、和室 42.73㎡、会議室 12.75㎡ 体育施設：多目的グラウンド（1面）5650.00㎡、テニスコート（4面）2840.00㎡

2. 指定管理者の概要等

指定管理者	名 称	公益財団法人松阪市勤労者サービスセンター
	所 在 地	松阪市上川町212番地 1
指定管理業務の内容		(1) 施設運営業務 ①施設運営（貸館業務） ②ワークセンター松阪事業の運営（各種講座、フリーレッスン等の開講） ③ワークセンターフェスティバル事業の運営 ④就労支援事業の実施 (2) 施設維持管理業務 施設の保守点検、備品管理、保守警備、清掃業務、修繕業務 の実施 (3) 自主事業の実施
業務運営実施状況	管理業務の実施状況	（貸館業務）3,683件、57,361人 （内個人利用 533件、1,730人） （講座・フリーレッスン）定期講座 39講座、延451回開催、延18,748人参加 短期講座 2講座、延 6回開催、延 54人参加 一日体験講座 3講座、延 4回開催、延 52人参加 フリーレッスン3講座、延106回開催、延 6,628人参加 （ワークセンターフェスティバル） 約5,000人来場 定期講座発表会、講座生作品提示、体験コーナー等を開催 （就労支援事業）42回、延162人参加 若者就業サポートステーション・みえ、おしゃべり絵本カフェ、ヨガ等の 相談・講座を開催 （自主事業）こどもスクール2024夏休み編（講座）9日間10種類14講座 延256人参加 こどもスクール2024冬休み編（講座）5日間5種類8講座 延137人参加 キッズ教室 3講座（リズムダンス、ロックダンス、テニス）延1,053人参加 こどもキッチン 6事業 101組 217人参加 松阪いきいきフェスタinワークセンター松阪 3回開催 （地域貢献活動事業） ワークセンター感謝祭 約3,500人来場 こどもを主としたさまざまな遊びや体験ブースを運営
	サービスの質の向上	令和6年度より松阪市事業である「長期休業時こども預かり事業」の貸館により大幅に利用人数が増加した。また、指定管理事業である就労支援事業や、自主事業（こども向け講座やマルシェ開催など）についても参加者が増加しており施設利用を促す工夫を実施している。結果、前年度比較で収入も増加し、地域貢献活動事業として「ワークセンター感謝祭」を1年前倒し実施する等、施設利用者や地域へのサービス向上を図った。

施設・設備等の維持管理	施設設備の維持管理を行うため、各施設の管理業務、芝生及び樹木管理業務、空調設備保守業務、電気保安業務、消防設備保守業務、自動ドア保守管理業務を委託により行った。 ※指定管理者が行った修繕 ・全施設／トイレドアコートフック交換、セコム機械警備装置部品交換 ・本館・第二別館／誘導灯ランプ及び発信機の交換 ・本館／多目的ホールマイク端子、女子トイレ配管水漏れ、2階会議室床張り替え ・第一別館／第2会議室ブラインド、女子トイレ詰まり、第1会議室壁紙張り替え ・第二別館／料理講習室調理台水漏れ、料理講習室止水栓漏水、多目的ホールダウンライト交換、洗濯機排水用ニップル交換、多目的ホールエアコン、料理講習室エアコン室内機ルーバー、多目的ホールエアコン室内機ルーバー、女子トイレ洗面台水漏れ、男子トイレタンク内 ・クラブハウス／男子トイレ小便器フラッシュバルブ交換（2回）、受水槽止水弁 ・テニスコート照明ライト交換 ※行政が行った修繕 ・本館及び第二別館、体育施設の自動ドア ・第二別館 1階ホール天井 ・体育施設気中開閉器接地線
-------------	---

指定期間	令和5年4月1日 ～ 令和10年3月31日
------	-----------------------

(単位：円)

			事業計画	事業収支実績				
				令和5年度	令和6年度			
事業収支推計	収入	指定管理料	27,600,000	27,600,000	27,600,000			
		施設利用料	6,985,000	6,471,765	9,817,218			
		講座受講料収入	11,489,000	12,478,740	13,029,210			
		自主事業収入	7,812,000	2,039,620	2,378,570			
		雑収益	0	128	9,765			
		計 (A)	53,886,000	48,590,253	52,834,763			
	支出	人件費	4,976,000	5,216,935	5,594,963			
		事務費	25,755,000	25,735,131	27,547,327			
		事業費	23,155,000	17,642,497	19,782,690			
		計 (B)	53,886,000	48,594,563	52,924,980			
	収支差引額 (A) - (B)		0	-4,310	-90,217			

3. 指定管理者業務運営項目別評価

評 価 項 目			指定管理者 自己評価		担当部署評価	
業務運営項目		内 容	採点	判定	採点	判定
管理業務の実施状況	①施設の目的や基本方針の確立	施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針が確立されていたか。 また、職員は理解していたか。	5	A	5	A
	②施設設置目的の達成度	施設の管理運営を通して、施設の設置目的は達成されたか。	5		5	
	③利用者数	利用者数は当初目標数を達成されたか。	4		5	
	④運営状況	施設の供用日数・供用時間は守られたか。また、適正な施設の維持管理、運営が行われたか。	5		5	
	⑤職員の配置状況・勤務実績	職員の配置状況・勤務実績は適正であったか。また、業務執行体制（作業責任者・業務担当者）は明確になっていたか。	4		4	
	⑥意思疎通	管理運営業務全般について、市と指定管理者の責任者の間で十分な連絡調整がなされていたか。	5		5	
	⑦各種管理記録等の整備・保管	各種業務計画書、点検記録、整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。	3		3	
	⑧地域の振興・活性化	地域や地域住民との交流・連携に関する取組みを実施し、地域交流の支援を行ったか。	5		5	
サービスの質の向上	①施設利用状況及び利用者数増加への取組み	自主事業や運営方法の工夫等利用者数増加に向けた具体的な取組みはあったか。（注1）	5	A	5	A
	②利用者の平等な利用	個々のサービスについて、対応職員によって格差が生じないように、施設のサービス水準を確保するための取組みを行ったか。	5		5	
	③適切な情報提供	全ての利用者が情報を得ることができるよう適切な利用情報の提供を行ったか。	4		4	
	④利用促進・PR	当該施設・事業について、広報誌やパンフレットを作成するなど、具体的な取組みが実施され、積極的な利用促進が図られたか。	5		4	
	⑤非常時・緊急時の対応	事故、災害等の緊急事態発生時の危機管理マニュアルの整備や対応体制の確立はされていたか。	3		3	
	⑥苦情解決体制及び対応	利用者からの意見・苦情等を受けて迅速かつ適切に処理できる体制が整っていたか。 また、事故、苦情に対する対応は適切であったか。	5		5	
	⑦自主事業	利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	5		5	
	⑧利用者アンケートの実施	利用者アンケートを実施し、利用者の意見・要望、満足度の把握に努めたか。 課題がある場合は対応策を講じたか。	5		5	
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	建物・設備が適切に管理され、安全性の確保及び良好な機能の保持がされていたか。	4	B	4	B
	②備品・什器等の保守点検	備品・什器等が適切に管理され、良好な機能が保持されていたか。	4		4	
	③修繕業務	点検によって異常が認められた場合には、速やかに修繕・交換・整備・調整等の適切な処置を講じたか。	4		4	
	④樹木・植栽等管理業務	草取りや除草等を行い、利用者が快適に利用できるような良好な景観が保たれていたか。	5		5	
	⑤清掃業務	敷地内は全て利用者が快適に利用できるよう清潔な状態が保たれていたか。	4		5	
	⑥鍵管理	鍵の管理は適切であったか。	5		4	

【（注1）のみ指定管理施設の管理運営評価表作成要項の評価基準1-（2）の採点基準にて評価】

4. 総合評価

指定管理者自己評価	担当部署評価
【努力した点・成果等】 ○貸館事業において、貸室の模様替えや柔軟な配置換えを行うことにより、子どもに関する利用や外国人利用者も大きく増加するとともに、定期講座では受講料と回数の見直しを図り経費削減を行なった結果、安定した収入を得ることができたため、2025年度実施予定であった地域貢献活動事業「ワークセンター感謝祭」を1年前倒しで開催した。 ○自主事業では、令和5年度の実績をふまえニーズにあわせた事業を厳選し、若年層や子どもを主とした企画を実施したことから参加者が増加し、満足度の高い事業（主に体験教室）を提供することができた。 ○就労支援事業については、令和5年度に引き続き若年層や引きこもりとその家族・支援者へのサポートを行った。また、個別就職相談については周知方法を変更し、当センター会報やHPを利用し定期的に周知を図ったところ、参加者の増につながった。	【評価すべき点】 ○令和6年度は指定管理事業2年度目であったが、利用者が増えるよう事業の工夫もあり、貸館業務、自主事業を中心に利用者数が大幅増となった。収入増に伴い「ワークセンター感謝祭」を新たに企画し、利用者、地域住民への還元事業を実施いただいたことも評価する。 ○ワークセンター松阪事業の定期講座において、開講講座の選定を講師や利用者との調整を実施し、安定かつ運営経費の削減を実施いただいた。 ○就労支援事業についても2年度目において利用者増となり、施設の目的である雇用の促進に寄与していただいた。 ○意見箱の設置や講座の説明会等を開催し、利用者とコミュニケーションを図り安定した事業実施をいただいた。
【改善すべき点】 ○当施設は築34年が経過するなか、利用者が快適に利用いただけるよう努めているが、施設の老朽化が著しく頻繁に修繕が必要となってきたため、日々の点検と早期対応を図ることにより、安全で安心して利用していただける環境を整えていく。 ○定期・短期・一日体験講座について、従来の受講生は必ず「広報まつさか」で募集があるものと認識しているが、他に広く市民に募集・案内できる媒体を活用し受講生の確保につなげていく。また、講座によっては極端に出席率が低いものや同種の講座も何点かあるため、利用者のニーズに合わせ定期的な見直しを行っていく。	【指導すべき点】 ○施設管理において令和6年台風10号において、雨漏り被害があった。日ごろの施設点検において、利用者・職員の安全性を高めるとともに、快適な施設環境の維持に努められたい。 ○各種事業計画、報告書類等は作成後速やかに提出されたい。
【所属長意見（今後の方向性等）】 令和6年度は指定管理者制度移行2年目であり、「収益性の見直し」「利用者増につながる事業」を企画検討し、前年度と比較し収入・利用者とも増加となった。また、収入増分は施設の修繕に充て老朽化する施設を適切に管理頂いた。運営に関しても利用者に寄り添い安定的な施設管理を実施いただいた。次年度以降においても引き続き、収益向上、利用者増を目指し、安定的な事業展開に努められたい。	

点数	採点基準	
5	優良	協定等で定めた水準以上のサービスが提供されているとともに、独自の新たなサービスが提供されている。
4	良	協定等で定めた水準以上のサービスが提供されている。
3	普通	協定等で定めた水準のサービスが提供されている。
2	やや劣る	協定等で定めた水準のサービスが一部提供されていない。
1	劣る	協定等で定めた水準のサービスが多く業務で提供されていない。早急に改善が必要である。

評価	評価の判定基準
A	5が半分以上かつ残りも3以上
B	全てが3以上
C	2が含まれる
D	1が含まれる